

## テレワーク、リモートワークについて

2019年11月に中国湖北省武漢市付近で発生したと言われている、新型コロナウイルス(COVID-19)が世界的に流行し始め、現在でも多くの人々に影響を与え続けています。それにより世間では「テレワーク」や「リモートワーク」といった働き方が注目され、様々な企業がこの働き方を採用するようになり、現在もそれらが続けられています。今回はそんな「テレワーク」、「リモートワーク」についてご紹介します。

### テレワーク、リモートワークとは???

テレワークとは「tele(離れた場所)」と「work(働く)」を合わせた造語で、「情報通信技術(ICT)を活用した場所や時間に囚われない柔軟な働き方」と定義されています。専用のオフィスで業務をおこなわずに、地方などに設置した別のオフィス、自宅、移動中の車内やカフェなどから互いにコミュニケーションをとりながら働く事をテレワークといいます。(図1)

リモートワークは「remote(遠隔)」と「work(働く)」を合わせた造語で、主にコンピュータ分野で広く使用されています。通信ができる機械などの遠隔操作技術を利用し、自分が現場に立ち会っていない状態でも機械を介して仕事ができる働き方をリモートワークといいます。(図2)



図1 テレワーク一例

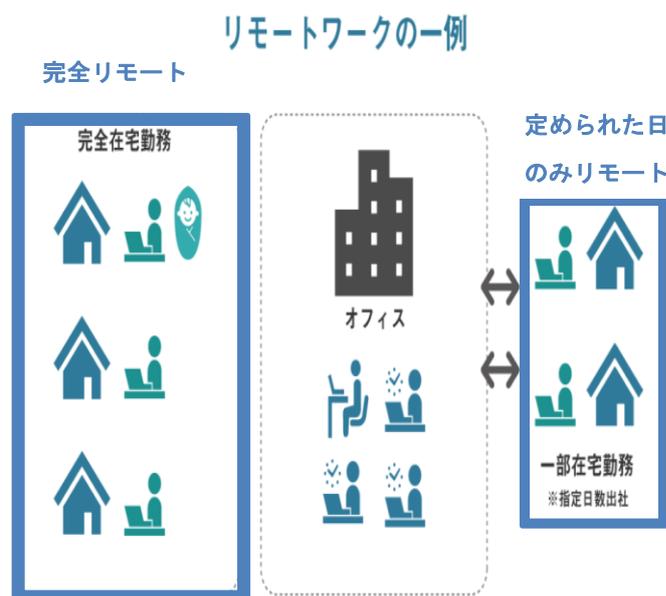


図2 リモートワーク一例

## 医療現場でのリモートワーク

COVID-19 の治療室は感染拡大防止の為、スタッフの治療室の出入りを最小限に抑える必要があります。とある医療施設では治療室に iPad などのタブレット端末を設置し、テレビ通話を常に行う事で、部屋の出入りを最小限に抑えつつ、室内と室外のスタッフ間のコミュニケーションを容易に行えるような工夫がされています。(図 3)(図 4)



図 3 設置されたタブレット

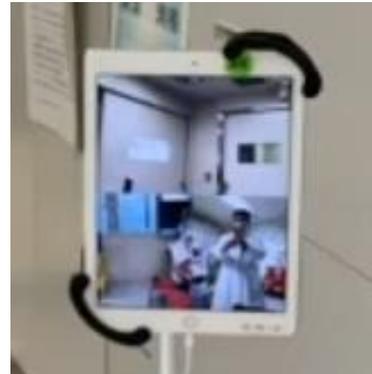


図 4 タブレット上に映し出された別室

また、近年では手術中に行われるリモートワークも実現されつつあります。アメリカの大学で最新の映像技術を駆使し、現場にいない外科医が、現場で執刀している外科医に対して液晶画面越しに目印を付け、現場で執刀している外科医を支援することができる技術を開発しています。現段階での臨床の使用はまだ行われておりませんが、多くの専門家から期待されています。(図 5)

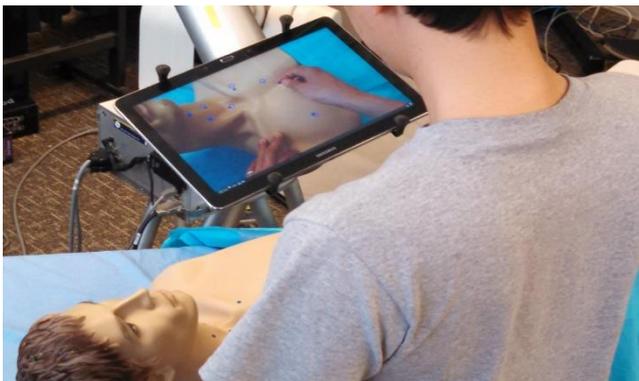


図 5 施術部位に様々なマーカーを液晶画面に表示

## 今後のテレワーク、リモートワークの課題

社内スタッフを管理する内容が急激に増えて手が回らなくなった!



職場の空気を感じ取れず、集中が途切れて仕事はかどらない!



テレワーク、リモートワークは今後も世の中において新しい働き方として浸透していきだろとうといわれています。しかし、不満や不安な意見が挙げられており、これから解決していかなければならない多くの課題が残されているのが現状です。

[参考画像]

- ・医療情報基盤センター国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 美代賢吾「医療機関にけるテレワークの可能性：業務とカンファと研究と」
- ・著者 Daniel Andersen より「Augmented Visual Instruction for Surgical Practice and Training」2018.3

URL:[https://www.researchgate.net/profile/Daniel\\_Andersen/publication/329754190-Augmented\\_Visual\\_Instruction\\_for\\_Surgical\\_Practice\\_and\\_Training/links/5d57397a92851cb74c71a800/Augmented-Visual-Instruction-for-Surgical-Practice-and-Training.pdf?origin=publication\\_detail](https://www.researchgate.net/profile/Daniel_Andersen/publication/329754190-Augmented_Visual_Instruction_for_Surgical_Practice_and_Training/links/5d57397a92851cb74c71a800/Augmented-Visual-Instruction-for-Surgical-Practice-and-Training.pdf?origin=publication_detail)